



## ～2023年度第4回食を通じた地域のプロモーション・交流事業～ 三島・函南の魅力をも中国へアピール

(一財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主事 加納 智理 (愛知県派遣)

### 事業の概要

クエアでは、日本の食文化などに関心を寄せる海外の消費者などを日本各地へ招へいし、FAM ツアーを実施することで、地域の魅力を国内外に発信するとともに、自治体の海外販路開拓やインバウンド促進に向けた機運を醸成することを目的とし、食を通じた地域のプロモーション・交流事業 (FAM ツアー事業) を実施しています。

2023年度は、日本およびアジア各国に料理教室を展開する株式会社 ABC Cooking Studio (本社：東京都千代田区丸の内) と連携して、事業を実施しました。具体的には、香港、中国、タイの ABC 社料理教室に通う生徒などを招へいし、各自治体が企画したツアー行程を巡ります。来日するツアー参加者は、日本の食や文化などへの関心が高く、トレンドや情報に敏感で消費意欲の旺盛な方々です。ツアーの様子を各参加者の SNS による発信やプロモーション動画の作成・デジタルサイネージでの放映などを通して広く PR します。

### ツアーの様子

2023年度第4回目のツアーでは、中国からインフルエンサーを3名招へいし、静岡県三島市および函南町を3泊4日で巡りながら、現地ならではの食文化やアクティビティを体験いただきました。

ツアー初日は、「水の都・三島」を代表する水辺スポット、源兵衛川を中心とする市内散策からスタートしまし



源兵衛川散策の様子

た。三島市は、富士山の伏流水がいたるところで湧き出て街中を流れており、「水の郷百選」にも選ばれたことがあります。

参加者は、川の水の透明度とせせらぎの美しさに感動した様子で、川辺の植物や水面のカモたちをモデルに、熱心に撮影していました。昼食には名物の鰻を堪能しました。三島の美しい水に数日打たれた鰻は臭みがなく、余分な脂だけが落ち、本来の美味しさを存分に味わえたようです。甘辛い秘伝のたれも参加者に大好評でした。昼食後には、三島のシンボル、三嶋大社を参拝しました。神職さんによる案内で歴史や作法を学び、少し緊張した様子でお祓いを受けた参加者でしたが、最後は清々しい表情で三嶋大社を後にしました。その後 B-1 グランプリで2年連続入賞を果たしたご当地グルメ「みしまコロケ」を試食して休憩を挟みつつ、夕食へ向かいます。この日は中国でも大人気の和食、天婦羅をいただきました。店主の計らいで刺身をサービスしてもらい、心遣いに感動した様子でした。帰り際には、源兵衛川沿いの隠れ家的な店構えのバーに立ち寄って、参加者それぞれの雰囲気合わせたカクテルをいただき、大人な気分で一日を終えました。

2日目は早朝から楽寿園を散策しました。早朝ならではの清く澄んだ空気の中、約1万年前の富士山噴火で流れ出した溶岩の歴史に思いを馳せながら、気持ちの良い朝を迎えました。この日の午前中の行程は農家体験。農家さんと一緒に、三島の冬の風物詩である大根干しを体験した後、箱根西麓三島野菜をたっぷり使った「農家めし」



大根干し体験をする様子



を作り、富士山を望む特設の野外テーブルで、自分たちで作った料理を楽しみました。三島で採れた野菜は、「箱根西麓三島野菜」と呼ばれ、有名レストランでも使用されるブランド野菜です。参加者は、野菜の新鮮さと味の濃さに驚いていました。同日の午後には、日本一長い吊橋で有名な「三島スカイウォーク」に移動。富士山と駿河湾を同時に楽しめる贅沢な絶景を楽しんだ後は、人気アクティビティの1つ・ロングジップスライドを体験しました。富士山を横目に往復560mもの距離を一気に滑り降りるスリルと爽快感に、参加者は大興奮でした。この日の夕食は、日本らしい居酒屋で創作和食のコースをいただきました。四季折々の素材を活かした新鮮な魚介類や野菜に、参加者は大満足の様子でした。

3日目は、三島市に隣接する函南町に移動し、十国峠を訪れました。レトロなパノラマケーブルカーに乗って頂上に降り立つと、富士山を望む360度の大パノラマに、参加者からは感嘆の声が上がりました。峠を降りた後は、函南町内にある酪農王国オラッチェへ移動し、函南町のブランド牛乳「丹那牛乳」の工場を見学したほか、地元の食材にこだわったレストランメニューや自慢の乳製品を試食しました。また、乳しぼりやえさやりの体験を通じて、動物とのふれあいも楽しみました。その後訪れた伊豆わさびミュージアムでは、静岡が誇る名産わさびのすりおろしを体験・試食。おろしたてのわさびには、爽やかに豊かな風味が感じられ、本わさび本来の美味しさを学ぶことができました。その後三島市へ戻り、たくさんの野菜を使ったフレンチコースを堪能しました。季節の箱根西麓野菜を使用した料理の数々にワインをペアリングしてもらい、本ツアー最後の夕食に相応しい贅沢な気分を味わいました。



酪農王国オラッチェでの昼食

最終日となる4日目、午前中の行程では、サプリメント工場を見学しました。中国国内では、健康志向の高まりから日本のサプリメントの人気の急上昇しているのだそうです。成分の量だけでなく、効率的な体内吸収やパッケージの使いやすさまで細部にわたるこだわりの説明に、参加者は惹きつけられていました。次に訪れたのは、三嶋大社門前、旧東海道に店を構える三島の老舗和菓子店が営むカフェです。ここでは、和菓子作りと抹茶点てを体験しました。お手本を見せる店主の見事な手さばきに感動しつつ、参加者も挑戦。細かな作業に苦戦しながらも出来上がった上生菓子は鮮やかで可愛らしく、参加者はさまざまな角度から撮影していました。昼食には、明治初期創業の純日本料理店で、和食をいただきました。日本庭園が見えるゆったりと落ち着いた日本家屋でくつろぎながら、四季折々の素材を活かし手間暇かけた日本の伝統料理を堪能しました。本ツアー最後の行程は、登録有形文化財を改築したウイスキー蒸留所の見学。こちらでは、日本国内では希少な本格的バーボンスタイルウイスキーを製造しています。中国では龍が大変神聖な霊獣とされていることから、蒸留所内の天井や壁に描かれた龍の絵にも心惹かれた様子でした。鮮やかな青色からピンク色へ変化するマジックジンは非常に印象的で、参加者は色が変わる様子に感動し動画におさめていました。



和菓子作り体験の様子

## 終わりに

日本には魅力的な観光資源や食文化が溢れています。インバウンド需要を取り込むには、そうした魅力を積極的に海外へ発信していくことが重要です。本事業では引き続き、体験コンテンツや食を通して、その土地固有の歴史文化などの魅力を発信することで、自治体の海外販路開拓やインバウンド促進を後押ししていきます。